

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

検証まとめ

令和2年 月

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1 結婚、出産、子育てがしやすく、その希望がかなう

検証主幹課:子ども家庭課

指標名(KPI)		合計特殊出生率				見込み	
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				R1	単位
1.56	1.6	H27	H28	H29	H30	-	0
		1.57	1.60	1.51	-	-	

R2:目標値	1.6
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	結婚や出産に希望が持てるとに、安心して子育てができるよう、出産から子育てにわたる一貫した重点支援を下記のとおり行っている ・幼保一体化園の設置 ・保育園延長保育の実施 ・子育て支援センターの充実
実施状況の説明	様々な課題がある中で、幼保一体化園の設置や延長保育の実施など、利用者にとって安心感を与えることができる効果をあげている。
進捗状況の分析	上記のような様々な取組みを行っているが、少子化などの社会情勢も大きく影響し、本KPIを達成することが完全な成果といえるものではなく、継続して取り組んでいくことが重要である。
事業の効果 (今後期待される効果)	上記取組みはすぐに結果に結びつくものではないが、継続して実施していくことにより、当町での子育てに対して住民が安心感を持てるようになるものであると考える。
今後の取組み (課題含む)	育児不安や産後うつなど多くの母子保健についての課題があり、妊娠期から全ての妊産婦や家庭に細かに切れ目ない支援が求められている。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1 結婚、出産、子育てがしやすく、その希望がかなう

検証主幹課：子ども家庭課

指標名 (KPI)		待機児童数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
0	0	0	7	15	21	54	人

R2:目標値	0
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	・菰野保育園園舎増改築事業 ・菰野西保育園園舎増改築事業 ・保育士人材確保対策事業
実施状況の説明	・菰野保育園(R1):仮設4歳児保育室1室建設(～R2.3末)。4歳児保育室2室建設中(～R2.8末) ・菰野西保育園(R1):仮設職員室建設、既設職員室を2歳児保育室に改修(～R2.3末)。2歳児保育室及び一時預り室建設中(～R2.8末) ・保育士人材確保対策事業(R1):対象者3名
進捗状況の分析	・菰野保育園(R2):4歳児保育室2室建設(～R2.8末)。既設園舎の改修により2歳児保育室を1室増室併せて調理室等改修(～R3.1末予定) ・菰野西保育園(R2):幼児室5室建設、既設園舎の改修により0歳児室及び1歳児室を各1室増室併せて調理室等改修(R3.8末予定) ・保育士人材確保対策事業:町内在住学生を対象としており、対象となり得る者が少ない状況 ○施設面の整備とともに、保育士人材の確保が課題
事業の効果 (今後期待される効果)	乳児及び幼児に係る保育室の増築及び改修等を行うことにより、乳児及び幼児の受入人数を増やし、保育サービスの量的拡充を図ることができる。
今後の取組み (課題含む)	・正規保育士の確保 ・保育園児が増加することにより、夕方遅い時間までの保育が必要となるため時間外保育士の確保が課題 ・民間事業者による保育施設の導入について検討 ・保育士人材確保事業について、R2年度から町外在住者で養成施設卒業後に町内施設の保育士として勤務する場合を追加

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(1)結婚、出産に希望が持てる情報提供の充実

検証主幹課:企画情報課

指標名 (KPI)		菰野町における生涯未婚率(男性)				見込み	
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				R1	単位
14	14	H27	H28	H29	H30	-	%
		17.3	-	-	-	-	

R2:目標値	14
--------	----

<事業の分析>

具体的な取組名	パパママ教室(沐浴教室等) 妊産婦サロン 産後ケア(バランスボール)
実施状況の説明	保健福祉センター、北部子育て支援センターにおいて、保健師や助産師が妊娠期からの継続的な支援を実施し、育児不安の軽減に努めることで、安心して結婚、出産ができるよう体制を整えている。
進捗状況の分析	子育て支援センターと情報交換を行いながら妊産婦の孤立防止、育児不安軽減に努めており、平成29年度10月に開設した北部子育て支援センターでは、助産師や保健師の相談、教室を月1回開催するなどし、子育てしやすいまちづくりを行っている。
事業の効果 (今後期待される効果)	保健福祉センターだけではなく、北部子育て支援センターにて教室を開催することにより、地域における相談窓口の周知強化が可能となっており、今後も身近な地域での相談や妊産婦の交流につなげていき、安心して結婚、出産ができるよう体制を整えていく。
今後の取組み (課題含む)	子育て支援を充実させることで、当町で子どもを産んで育てようという気持ちになってもらうよう、引続き取組みを行うが、結婚に対しては、当事者の選択であり行政としてどのような取組みができるか検討の必要がある。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(1)結婚、出産に希望が持てる情報提供の充実

検証主幹課:企画情報課

指標名(KPI)		菰野町における生涯未婚率(女性)				見込み	
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				R1	単位
6	6	H27	H28	H29	H30	-	%
		8.6	-	-	-	-	

R2:目標値	6
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	パパママ教室(沐浴教室等) 妊産婦サロン 産後ケア(バランスボール)
実施状況の説明	保健福祉センター、北部子育て支援センターにおいて、保健師や助産師が妊娠期からの継続的な支援を実施し、育児不安の軽減に努めることで、安心して結婚、出産ができるよう体制を整えている。
進捗状況の分析	子育て支援センターと情報交換を行いながら妊産婦の孤立防止、育児不安軽減に努めており、平成29年度10月に開設した北部子育て支援センターでは、助産師や保健師の相談、教室を月1回開催するなどし、子育てしやすいまちづくりを行っている。
事業の効果 (今後期待される効果)	保健福祉センターだけではなく、北部子育て支援センターにて教室を開催することにより、地域における相談窓口の周知強化が可能となっており、今後も身近な地域での相談や妊産婦の交流につなげていき、安心して結婚、出産ができるよう体制を整えていく。
今後の取組み (課題含む)	子育て支援を充実させることで、当町で子どもを産んで育てようという気持ちになってもらうよう、引続き取組みを行うが、結婚に対しては、当事者の選択であり行政としてどのような取組みができるか検討の必要がある。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(1)結婚、出産に希望が持てる情報提供の充実

検証主幹課:子ども家庭課

指標名 (KPI)		妊産婦教室参加者数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
189	200	206	122	142	191	260	人

R2:目標値	230
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	パパママ教室(沐浴教室等) 妊産婦サロン 産後ケア(バランスボール)
実施状況の説明	保健福祉センター、北部子育て支援センターにおいて、保健師や助産師が妊娠期からの継続的な支援を実施し、育児不安の軽減に努めている。
進捗状況の分析	子育て支援センターと情報交換を行いながら妊産婦の孤立防止、育児不安軽減に努めており、平成29年度10月に開設した北部子育て支援センターでは、助産師や保健師の相談、教室を月1回開催し、目標数値は概ね達成している。
事業の効果 (今後期待される効果)	保健福祉センターだけではなく、北部子育て支援センターにて教室を開催することにより、地域における相談窓口の周知強化が可能となっており、今後も身近な地域での相談や妊産婦の交流につなげていくことも期待できる。
今後の取組み (課題含む)	令和2年4月から子ども家庭課内に子育て世代包括支援センターを開設し、より細かな相談、特に妊婦への支援を強化していく必要がある。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(2)子育てに関する包括的な支援の充実

検証主幹課:子ども家庭課

指標名 (KPI)		保育園等の園庭解放への来訪者数					単位
		実績値					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	H27	H28	H29	H30	R1	
2,008	2,100	2,152	2,297	2,317	2,335	2,244	人

R2:目標値	2,200
--------	-------

<事業の分析>

具体的な取組名	わくわく広場(町内公立園巡回型子育て支援事業) 保育園単独園庭解放(月～金 午前中)
実施状況の説明	町内公立幼稚園、保育園に子育て支援センターの保育士が出かけ、園での交流や子育て支援を実施する。 各園において実施する園庭解放。
進捗状況の分析	保育園単独の園庭解放の利用人数は少ないが、子育て支援事業の際には利用しやすい印象を感じる。園の改築工事等により開催回数変動しているが、目標値は達成している。
事業の効果 (今後期待される効果)	入園を検討する際にわくわく広場に参加する方が多くなる。 地元園が入園前から子育て支援の場として、住民に周知される機会になればと考える。
今後の取組み (課題含む)	北部子育て支援センターの開設により、保育園以外に低年齢児が遊べる場が出来たことや、園の増設工事等が続き、開催回数が減少するため、参加人数は減少すると思うが、少しでも参加しやすいように内容等を工夫して取り組んでいく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(2)子育てに関する包括的な支援の充実

検証主幹課:子ども家庭課

指標名(KPI)		ファミリーサポートセンター利用数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
1,057	1,199	800	939	1,182	1,408	1,463	件

R2:目標値	1,408
--------	-------

<事業の分析>

具体的な取組名	ファミリーサポートセンター事業
実施状況の説明	育児をサポートしてほしい依頼会員と、支援が可能なサポート会員とのコーディネートや相談の実施。 サポート会員養成講座・サポート会員と依頼会員の交流会の実施。
進捗状況の分析	会員数は増加しており、利用数の目標値を達成している。
事業の効果 (今後期待される効果)	保育士不足のため一時保育の対応人数が少なくなっている。また、待機児童対応や細かな保育ニーズに対してファミリーサポートセンターが対応できている。
今後の取組み (課題含む)	事故予防、増加するひとり親や外国人家庭のニーズに対応できるように取り組むことが必要。 事業の周知のためサポート会員や依頼会員が母子保健や子育て支援事業に参加する内容の検討を行う。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(2)子育てに関する包括的な支援の充実

検証主幹課:子ども家庭課

指標名 (KPI)		子育てサロンの開催回数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
134	134	144	132	121	121	107	回

R2:目標値	121
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	子育て支援拠点事業
実施状況の説明	各地区コミュニティセンターにて、子育てキーパーソンを中心に、子育て中の親子の交流の場づくり相互支援を実施。 年1回、子育てキーパーソンの養成講座を実施している。
進捗状況の分析	令和元年度 子育てキーパーソンは18期目の養成終了、養成者380人。 各地区で月2回子育てサロンを開催し、身近な地域での交流の場が確保されている。
事業の効果 (今後期待される効果)	子育てサロンの参加者が、子育てキーパーソンになり、その後はファミリーサポートセンターのサポート会員やヘルパー、養育支援訪問事業援助者、放課後児童クラブ指導員、主任児童委員など地域で各種の活動を担う人材につながっている。
今後の取組み (課題含む)	引続き子育てサロンを開催し、地域の親子の交流を促進していく。 転入親子が増加していることから、子育てキーパーソンと協働した転入親子向けの支援内容を検討していく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(2)子育てに関する包括的な支援の充実

検証主幹課：子ども家庭課

指標名 (KPI)		放課後児童クラブ利用者数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
200	356	199	245	259	276	321	人

R2:目標値	348
--------	-----

＜事業の分析＞

具体的な取組名	就労している保護者が安心して預けられるように施設の環境整備や安全に放課後を過ごすため子どもたちの見守りを行う指導員を確保するための運営費の補助を行っている。
実施状況の説明	上半期には円滑な運営ための対象人数に対する基準額を交付し、年度末には実績に伴った加算額の補助金を交付している。
進捗状況の分析	令和元年度は町内7か所で実施しているが、今後は支援の単位が増加していくことにより、補助金の増額が懸念される。
事業の効果 (今後期待される効果)	学童入所希望者が年々増加し、運営支援と施設整備への行政の関わりが大きな課題となっている。
今後の取組み (課題含む)	入所希望が増加し、施設の規模が小さく、申込者全員を受け入れることが難しい状況にあり、支援員の確保も難しい。運営主体である保護者の負担も大きくなり、民営委託の方向性になるとさらに入所希望者が増える見込み。また、施設整備に対して行政への支援もさらに求められることが大きな課題となっている。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(2)子育てに関する包括的な支援の充実

検証主幹課:子ども家庭課

指標名 (KPI)		子育て支援センター利用者数 児の人数					単位
		実績値					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	H27	H28	H29	H30	R1	
12,896	21,444	14,750	13,771	17,390	22,359	17,959	人

R2:目標値	21,000
--------	--------

<事業の分析>

具体的な取組名	子育て支援拠点支援事業(子育て支援センター運営)
実施状況の説明	けやきと北部2か所の子育て支援センターを運営し、就学前の子育て中の親子交流の場の提供や交流の促進、身近な場での育児相談や援助の実施、子育て支援情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施を行う。 月～土曜日(日・祝は休館)9時～16時開館
進捗状況の分析	平成29年10月に北部子育て支援センターが開設され、身近な場での交流の機会が増え、利用人数が増加している。 親育ち支援として、救急講座や事故予防、トイレトレーニング等の講座を開催している。
事業の効果 (今後期待される効果)	北部子育て支援センターの開設により、今までけやき子育て支援センターを利用していない親子も新しく参加しており、目標数値は達成されている。
今後の取組み (課題含む)	子育て支援センターの利用児童をみると0歳児、1歳児の利用が増加している。 妊娠期からの情報提供の充実と利用に向けた取組みの実施が必要。 地縁血縁のない子育て家庭の転入が多くなっていることから、転入家庭への新しい支援を検討していく必要がある。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(2)子育てに関する包括的な支援の充実

検証主幹課:子ども家庭課

指標名 (KPI)		病児・病後児保育利用数					単位
		実績値					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	H27	H28	H29	H30	R1	
13	27	16	12	14	12	13	回

R2:目標値	12
--------	----

<事業の分析>

具体的な取組名	病後児保育事業
実施状況の説明	病気の回復期であるが通園が困難であり、親の就労等により家庭での保育が困難な子どもを預かる事業として聖マリアこども園にて実施(実績値のとおり)
進捗状況の分析	病気の回復期にあり保育園に通園困難な児童等は「病後児保育」を利用できるが、病気にかかり集団保育が困難な児童等を預かる「病児保育」は菰野町において実施していない。
事業の効果 (今後期待される効果)	親の就労等により家庭での保育が困難な子どもを預かることにより、子育て支援を図る。
今後の取組み (課題含む)	病児保育については現時点で町単独での実施が困難なため、近隣自治体との共同実施等を検討

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

1-(2)子育てに関する包括的な支援の充実

検証主幹課:子ども家庭課

指標名 (KPI)		時間外保育利用者数				見込み	
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				R1	単位
180	159	H27	H28	H29	H30	438	人
		180	175	169	153		

R2:目標値	890
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	通常の保育時間を延長して子どもを預かる事業
実施状況の説明	短時間保育は8時30分から16時30分 標準時間は7時30分から18時30分で、その時間を延長する場合に実施
進捗状況の分析	千種幼保園、聖マリアこども園にて実施している。
事業の効果 (今後期待される効果)	安心な保育園で見守りが可能となる。
今後の取組み (課題含む)	千種幼保園以外で、連絡なしで時間を過ぎてもお迎えのないケースがある場合について、保護者に対してファミリーサポート利用などの対策を検討する。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2 交流が活発で、人が集まり、賑わいがある

検証主幹課：観光産業課

指標名 (KPI)		観光入込客数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
248	258	238	231	230	234	238	万人

R2:目標値	248
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	・観光協会運営補助金 ・観光事業振興補助金
実施状況の説明	多様な関係者と協同しながら観光地域づくりを実現できるよう、観光地域づくりの舵取り役である一般社団法人菰野町観光協会を中心として、菰野町への誘客に繋げる各種イベントや取り組みを実施した。また、各種団体への活動について補助することで、観光資源となる行事の育成や誘致宣伝活動を支援した。
進捗状況の分析	菰野町観光協会においては、日本版DMO候補法人となり、一般社団法人として法人格、第3種旅行業を取得するなど、持続可能で発展的な観光振興の体制づくりを行った。また、各団体においては行事の実施や誘致宣伝活動を行い、誘客に努めた。
事業の効果 (今後期待される効果)	菰野町観光協会を中心として観光事業者をはじめ各関係者と連携してプロモーション活動、誘致活動を実施し、誘客に繋げることができた。 特に、近畿日本鉄道との連携では観光列車を特別に運行してもらうなど大いに連携でき、今後も近鉄のネットワークを活用したスケールメリットを活かした活動が期待できる。
今後の取組み (課題含む)	菰野町観光協会を菰野町の観光振興の舵取り役として、行政や観光事業者など多様な関係者と連携した取り組みを実施していき、町内外の方々やインバウンド観光客の誘客に努める。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菟野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2 交流が活発で、人が集まり、賑わいがある

検証主幹課:企画情報課

指標名(KPI)		5年間の転入超過数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
765	558	190	319	31	41	-8	人

R2:目標値	6
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	観光客誘致や子育て支援の充実など、町の全体の取組みにより、住民の住みやすさや町の魅力を高めることで、訪れたいまちから住みたいまちへと展開を図っている。
実施状況の説明	
進捗状況の分析	目標値の達成は見込めているが、転入超過数が減少しており、人口の減少傾向がみえてきている。転出超過となり、継続する可能性もあるため、動向に注視していく必要がある。
事業の効果 (今後期待される効果)	各種事業の成果により町の魅力を高め、転入超過の状態を維持し、極力人口バランスを保てる状態を期待する。
今後の取組み (課題含む)	引続き、住民の住みやすさ(満足度)を高めることで、町の魅力を高めることで訪れたいまちから住みたいまちへと展開を図っていく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(1)地域資源を活かした観光の振興

検証主幹課:観光産業課

指標名(KPI)		外部人材の提案による新規情報発信数(累計)					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
1	6	1	1	1	1	0	件

R2:目標値	-
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	外部視点からの観光振興意見交換事業
実施状況の説明	地域外の大学生が菰野町の魅力を動画で情報発信する映像制作する過程において菰野町でフィールドワークを実施することで、それを通して感じる思いや意見など、外部視点から見る地域振興について町内関係者と意見交換会を実施する。
進捗状況の分析	毎年、外部視点からの観光振興意見交換事業を実施してきたが、令和元年度からは事業の見直しによる中止となった。
事業の効果 (今後期待される効果)	地域外大学生の若者視点・外部視点や意見を伺うことで、地域の魅力を再発見できた。また、大学生が菰野町訪問して魅力を体感したことで、新たな菰野町ファン創生に繋げることができた。 なお、令和元年度からは事業の見直しによる中止となった。
今後の取組み (課題含む)	令和元年度からは事業の見直しによる中止となった。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(1)地域資源を活かした観光の振興

検証主幹課:観光産業課

指標名(KPI) ショートフィルムフェスティバルによる菰野町ストーリーの情報閲覧数(累計)

基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					単位
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	5,000	2,087	2,582	3,076	5,340	0	件

R2:目標値	-
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	シネマツーリズム推進事業
実施状況の説明	菰野町の魅力を国内外に情報発信することで菰野町への誘客を図ることを目的として、映像制作を学ぶ大学生が観光誘致プロモーションビデオを制作し、インターネット上で閲覧できるようにする。また、コンテストの機会を提供することで、よりよいものを制作できるような取り組みも併せて実施した。
進捗状況の分析	毎年、シネマツーリズム推進事業(菰野町観光プロモーションビデオコンテスト)を実施してきたが、令和元年度からは事業の見直しによる中止となった。
事業の効果 (今後期待される効果)	大学生が菰野町の観光プロモーションに資するショートフィルムを撮影・制作し、制作されたショートフィルムをインターネット上で公開するなど幅広く利用することで、菰野町の効果的な観光PRに繋げることができた。 なお、令和元年度からは事業の見直しによる中止となった。
今後の取組み (課題含む)	令和元年度からは事業の見直しによる中止となった。 今後の再開の見込みは無し。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(1) 地域資源を活かした観光の振興

検証主幹課：観光産業課

指標名(KPI)		湯の山温泉入込客数 ※1～12月					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
184	200	180	178	173	180	173	万人

R2:目標値	180
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	湯の山温泉駐車場整備等設計業務
実施状況の説明	行楽シーズン、湯の山地域ではマイカーでの来訪者の入庫待ちなどにより発生する渋滞により、市街地まで影響が及ぶ大規模な交通渋滞も発生し、来訪者だけでなく、通過交通や地元住民の生活にも影響を与えているため、湯の山温泉街周辺での駐車場整備を実施する。
進捗状況の分析	事業の見直しによる中止
事業の効果 (今後期待される効果)	事業の見直しによる中止
今後の取組み (課題含む)	事業の見直しによる中止

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菟野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(1) 地域資源を活かした観光の振興

検証主幹課: 観光産業課

指標名 (KPI)		ユニバーサルデザイン公衆トイレ新規設置数(累計)					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					単位
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	5	1	1	1	0	0	箇所
		尾高	竹成	八風			
		R2:目標値					-

<事業の分析>

具体的な取組名	ユニバーサルツーリズム促進施設整備事業補助金
実施状況の説明	高齢や障がい等の有無にかかわらず誰もが安心して観光地を楽しむことができるよう、観光地における重要な要素であるトイレをユニバーサルデザイン化する団体に対して新築・改修する費用の一部を補助するもの。
進捗状況の分析	毎年、ユニバーサルデザイン化されたトイレ整備を進めてきたが、平成30年度からは事業見直しにより補助金要綱の廃止となった。 なお、今後は観光事業等補助金(ユニバーサルデザイン化トイレ整備に限らない観光施設の整備)において対応していく。
事業の効果 (今後期待される効果)	ユニバーサルデザイン化されたトイレ整備を進めてきたことで、観光地の魅力向上に繋げることができた。 なお、平成30年度からは事業の見直しによる中止となった。
今後の取組み (課題含む)	平成30年度からは事業の見直しによる中止となった。 なお、今後は観光事業等補助金において対応していく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(1)地域資源を活かした観光の振興

検証主幹課:観光産業課

指標名 (KPI)		湯の山温泉街の空き店舗数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
14	9	13	12	12	11	10	件
		かもしか資鹿の湯 えん		カフェコブ 漫画図書館			
				R2:目標値	10		

<事業の分析>

具体的な取組名	湯の山温泉街空き店舗開業支援事業
実施状況の説明	湯の山温泉街にある空き店舗を有効に活用することで湯の山温泉街を活性化するため、その空き店舗で開業するものに対して改修等に要する費用の一部を補助するもの。
進捗状況の分析	平成27年から毎年補助金メニューを活用して湯の山温泉街にある空き店舗が改修等され新しい店舗が開業されており、順調に空き店舗を減らせている。
事業の効果 (今後期待される効果)	湯の山温泉街にある空き店舗を減らせていることから、温泉街のかつての賑わいを取り戻しつつある。
今後の取組み (課題含む)	今後も温泉街の空き店舗をすべてなくし、新しい店舗が開業できることを目標にし、継続して補助金を維持することで湯の山温泉街にかつての賑わいを取り戻して地域の活性化に資するよう取り組んでいく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(1) 地域資源を活かした観光の振興

検証主幹課: 社会教育課

指標名 (KPI)		ハーフマラソン参加者数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
5,000	5,000	5,359	4,018	4,088	4,413	4,397	人

R2: 目標値	
---------	--

<事業の分析>

具体的な取組名	令和元年度第14回鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン
実施状況の説明	毎年10月第3日曜日に開催 マラソン大会の実施種目: ハーフ・10キロ・3キロ・2キロ・ファミリー1キロ 会場内ステージで地元活動団体のアトラクション実施 地元店舗等の販売ブースの設置 各賞の副賞として地場産品の提供
進捗状況の分析	第14回元年度: 総エントリー4,884人中、当日参加者4,397人場内で地場産品の宣伝・販売や、地元活動団体の発表の場の提供、多くのボランティアスタッフ1,127人の参加により、町をあげたイベントとして、まちの活性化に寄与できた。 実行委員会、運営委員会を開催して、進捗管理をしている。
事業の効果 (今後期待される効果)	地域・学校・観光・商工・体育等の様々な分野が連携・協力した全国発信のスポーツイベントを開催することで町内の希薄化傾向にある「親子間」「世代間」「地域間」等のあらゆる交流の機会を提供する。更にそれぞれが町のPR意識や来町者へのおもてなし意識を高めたスタッフ協力により、菰野町民の結束力の向上が図れる。
今後の取組み (課題含む)	・高速道路建設によるマラソンコースの見直し等の課題があり、大会運営で議論が必要。 ・町をあげた大会という面から、今後の事業の在り方や町職員を含めたボランティアの養成等に検討が必要。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(2)海外からの観光誘客の促進

検証主幹課:観光産業課

指標名(KPI)		おもてなし研修会参加者数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	450	1	1	1	0	0	人

R2:目標値	-
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	インバウンドおもてなし研修事業
実施状況の説明	拡大する訪日外国人旅行者のさまざまな機会に対応できる観光事業者・人材の育成が必要なことから、湯の山温泉街の観光事象者を対象に受入れに対するおもてなしやコミュニケーションの円滑化できるよう、専門家を招き研修会を実施した。
進捗状況の分析	平成27年～平成29年までインバウンドおもてなし研修事業を進めてきたが、平成30年度からは事業見直しにより中止となった。
事業の効果 (今後期待される効果)	インバウンドおもてなし研修事業を進めてきたことで、訪日外国人、特に台湾の方に対する受け入れ態勢を多少なりとも整備することができた。 なお、平成30年度からは事業の見直しによる中止となった。
今後の取組み (課題含む)	平成30年度からは事業の見直しによる中止となった。 今後の事業再開の見込みは現時点では無い。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

2-(2) 海外からの観光誘客の促進

検証主幹課:観光産業課

指標名 (KPI)		海外における観光産業プロモーション実施件数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	5	1	1	1	1	1	件

R2:目標値	5
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	海外観光産業プロモーション事業
実施状況の説明	訪日リピーターが多い台湾をインバウンド誘客のメインターゲットとして、現地で開催されている「ITF台北国際旅展」に出展することで、菰野町の知名度を高め誘客に繋げることを目的に、現地でプロモーション活動を実施します。
進捗状況の分析	平成27年～平成29年は「日本の観光・物産博」、平成30年からは「ITF台北国際旅展」に出展することで、現地において菰野町のPRを実施してきた。菰野町の認知度を多少向上することができたと考え。また、現地へ出向いたことで現地の雰囲気把握することができた。
事業の効果 (今後期待される効果)	湯の山温泉街の観光事業者からは台湾からの観光客数の推移については把握できていないが、体感的にインバウンド観光客は増加しているとの報告を受けている。今後も増加することが予想されるインバウンド観光客を受け入れることで、地域活性化に繋げることが期待される。
今後の取組み (課題含む)	今後は現地でのプロモーション活動から、受入環境の整備やインターネットを活用しての情報発信、現地旅行社との商談等の取り組みへと切り替えすることで、より効果的なインバウンド誘客の取り組みを行っていく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

2-(2)海外からの観光誘客の促進

検証主幹課:観光産業課

指標名(KPI)		湯の山温泉街における外国語表記サイン設置件数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
3	10	2	2	2	2	1	件

R2:目標値	1
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	湯の山温泉サイン整備工事
実施状況の説明	湯の山温泉街を中心に外国人観光客を含めたすべての観光客に分かりやすいようピクトグラム、英語を併記した観光案内看板を設置し、観光地を回遊しやすいように順次整備している。
進捗状況の分析	湯の山温泉街を中心に観光案内看板を順次整備できた。 また、新名神高速道路 菰野インターチェンジの供用開始、湯の山かもしか大橋が架橋されたことから、湯の山温泉街へのアクセスが向上し動線が変化することが予想されることから、新たな動線上にも観光案内看板が必要となる。
事業の効果 (今後期待される効果)	効果的に観光案内看板を配置することで、観光客を効果的・効率的に湯の山温泉街を周遊できるように誘導する効果が期待できる。
今後の取組み (課題含む)	新名神高速道路 菰野インターチェンジの供用開始、湯の山かもしか大橋が架橋されたことから湯の山温泉街へ向かう動線が変化することが予想されるため、その動線上に観光案内看板を設置する必要がある。計画的に順次整備していく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

3 農林商工業が元気で、町内や近隣市町に多様な働く場がある

検証主幹課:観光産業課

指標名 (KPI)

青年新規就農者数

基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					単位
		H27	H28	H29	H30	R1	
2	9	3	4	6	6	5	人

R2:目標値

5

<事業の分析>

具体的な取組名	農業次世代人材投資事業
実施状況の説明	青年(50歳未満)の生活安定と就農直後の経営確立を図るため、要件を満たす方を対象として、1人あたり年間最大で150万円の農業次世代人材投資資金を最長5年間交付します。
進捗状況の分析	担い手の高齢化が進展していることから、認定新規就農者の掘り起こしや育成は必要と考える。農業の魅力を発信するための方策が課題となっている。
事業の効果 (今後期待される効果)	平成26年度から累計で6名の新規就農者を認定し当該事業を活用している。事業活用により親からの事業継承がスムーズに行われ、また、当町は主穀(米・小麦・大豆)が主な作付けとなっているが、露地野菜の新規就農につながっている。
今後の取組み (課題含む)	農業の魅力を発信するため就農相談会を開催し、県・農協等、関係機関と連携し新規就農者の支援にあたっていく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

3 農林商工業が元気で、町内や近隣市町に多様な働く場がある

検証主幹課:企画情報課

指標名 (KPI)		菰野町の生産年齢人口に占める就業者の割合					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				見込み	単位
		H27	H28	H29	H30	R1	
72	75	79	-	-	-	-	%

R2:目標値	80
--------	----

<事業の分析>

具体的な取組名	雇用の場の確保に関して、窓口等にハローワークのチラシを設置している。
実施状況の説明	ハローワークのチラシを設置することにより雇用の場を周知している。
進捗状況の分析	前回値より向上しており、目標値も上回っている。
事業の効果 (今後期待される効果)	検証は難しいが、チラシを見て応募し、雇用へとつなげることができる。
今後の取組み (課題含む)	引続き取組みを実施していく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

3-(1) 農林業及び関連産業における雇用の創出

検証主幹課: 観光産業課

指標名 (KPI)		食の観光推進イベント実施回数(累計)					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
1	6	1	1	3	3	1	回

R2:目標値	1
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	町産品による食の観光推進事業
実施状況の説明	平成30年度までは都市圏において菰野町の食を中心としたイベントを実施したり、コンテンツを発信して、国内外からの訪町を誘発することで、菰野町の観光振興、地域活性化に貢献することを目的として実施した。 また、平成30年からは、ガストロノミーウォーキングを湯の山温泉街を中心に開催し、菰野町に来町いただき、食、自然、文化など体感いただくイベントを開催した。
進捗状況の分析	平成30年度まで都市圏において菰野町の食を中心としたイベントを実施し、食材の美味しさを体感してもらうことで、食を通じた来訪のきっかけとなるイベントを開催した。なお、令和元年度からは都市圏でのブ食のロモーションは見送っている。 また、平成30年度からはガストロノミーウォーキングin湯の山として、温泉街を中心とした食のイベントを実施している。
事業の効果 (今後期待される効果)	自然や文化などとともに、地域の食文化を活用して菰野町の魅力を体感してもらうイベントを開催することで、菰野町のファンを創出し、誘客に繋げる効果が見込める。
今後の取組み (課題含む)	食は観光地の付加価値を高める重要な要素であることから、今後も食を通じた観光振興については積極的に取り組んでいく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

3-(1)農林業及び関連産業における雇用の創出

検証主幹課:観光産業課

指標名 (KPI)		耕作放棄地面積				見込み	
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				R1	単位
15	15	H27	H28	H29	H30	-	ha
		116	-	-	-	-	
						R2:目標値	116

<事業の分析>

具体的な取組名	農業振興地域の整備に関する法律及び農地法の適正運用を図った。
実施状況の説明	優良農地が無秩序に市街化にならないよう抑制を図った。
進捗状況の分析	農家の担い手不足は全国的に深刻化しており、当町においても耕作放棄地が増加の一途をたどっている。
事業の効果 (今後期待される効果)	
今後の取組み (課題含む)	再生可能な耕作放棄地に関しては補助事業を行い再生させていく。 当町は、主穀中心経営が主で野菜や果樹栽培が盛んでない。新規就農者をグループ化し、周辺市町で作付けしていない野菜や果樹栽培を畑で営めるよう支援していく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

3-(1) 農林業及び関連産業における雇用の創出

検証主幹課: 観光産業課

指標名 (KPI)		有害鳥獣被害額					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
2,215	1,500	2,206	1,982	1,724	1,705	1,341	万円

R2: 目標値	-
---------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	・有害鳥獣対策施設等設置補助金事業 ・捕獲力向上対策事業
実施状況の説明	当町では、国交付金を活用して約37kmの電気柵を設置したが、囲い込み方法が不十分であったり、多様な獣種に対応できないことから、被害軽減効果を発揮できていない状況であった。このことから国交付金を活用した侵入防止柵の強化を図り、電気柵の機能向上、複合柵の新設を推進し、町猟友会による捕獲力の向上を図りながら有害鳥獣対策を地域ぐるみで実施している。
進捗状況の分析	平成29年度から、各関係団体では山際における農地で国交付金を活用し、計画的に侵入防止柵を設置している状況である。現在、町では、県、猟友会と共に効果的な方法等を協議し、地域住民と一緒に取り組みながら鳥獣被害の軽減を図っている。現在、町内の山際における農地では、ほぼ全域で侵入防止柵を設置している。
事業の効果 (今後期待される効果)	現在では、山際における侵入防止柵を設置し、さらに檻、罠による捕獲強化を実施しており、年々有害鳥獣被害額が減少している。事業効果としては、侵入防止柵による農産物被害の軽減、個体数調整による有害鳥獣の減少が図られた状況である。また、地域ぐるみでの取組では、有害鳥獣に対する取組み意識の向上に繋がり、地域農業の活性化される効果がある。
今後の取組み (課題含む)	町内における山際の農地では、侵入防止柵を設置したことで獣害被害を大幅に減少させているが、さらに町猟友会と共に地域ぐるみでの捕獲活動を強化していく計画である。今後、住民自らが地域における維持管理、補修等を行い、地域全体で獣害対策を継続的に実施できるよう取り組んでいく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

3-(2)町内外における雇用の場の確保と多様な働き方の実現

検証主幹課:観光産業課

指標名(KPI)		多様な働き方に関する情報提供数(累計)					単位
		実績値					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	H27	H28	H29	H30	R1	
—	200	0	0	0	0	0	回

R2:目標値	-
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	観光産業課内においてシステム稼働中
実施状況の説明	ネットワークによりハローワークの求人情報を検索・閲覧ができ、それを活用しての就労相談、カウンセリングなど就職に資する職業紹介に準じた相談支援を実施することで、就労支援の充実を図っている。また、子ども家庭課においては母子・寡婦家庭の支援事業に付随した取り組みとして活用している。
進捗状況の分析	現在のところ相談事案がないため、実績がない。
事業の効果 (今後期待される効果)	現在まで相談事案がないため実績がないが、特に母子・寡婦家庭の方への支援として、福祉相談や子育て相談に合わせて就労相談を行えるよう体制を整えることで、福祉支援の充実と窓口のワンストップ化を図ることが期待される。
今後の取組み (課題含む)	今後も就労相談のツールとして活用することで、窓口のワンストップ化を図れるよう取り組む。ハローワークの求人情報を閲覧できることへの認知度が低いことから、周知する必要がある。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4 豊かな自然を活かし、安全安心で穏やかな生活が出来る

検証主幹課:企画情報課

指標名(KPI)		住民アンケートで「住みやすい」と回答した人の割合					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	単位
86	86	85.6	81.1	80.1	78.1	81.8	%

R2:目標値	86
--------	----

<事業の分析>

具体的な取組名	本項目に関しては、相対的な要素に基づく結果となる。
実施状況の説明	
進捗状況の分析	約8割の方が安定的に住みやすいと回答していることから、ある程度、満足度は保っている
事業の効果 (今後期待される効果)	
今後の取組み (課題含む)	住民の住みやすさ、満足度の向上のため、様々な分野で取組みを継続していく必要がある。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4 豊かな自然を活かし、安全安心で穏やかな生活が出来る

検証主幹課:健康福祉課

指標名(KPI)		健康寿命と平均寿命の差(男性)				見込み	
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				R1	単位
2	2	H27	H28	H29	H30	-	年
		2.2	2.0	2.6	2.1		

R2:目標値	2
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	・がん検診の対象年齢の引き下げを実施 ・がん検診の精度の向上を図った ・健康マイレージ事業の実施 ・健康増進計画・食育推進計画の策定 ・禁煙チャレンジ推進事業を実施 など
実施状況の説明	・定期的な検診の受診を促し、がんなどの早期発見を目指し実施した。 ・当町の喫煙率が高いという健康課題に対する取組みを実施した。
進捗状況の分析	基準値を下回ることなく推移しており、今後も継続して取組んでいきたい。
事業の効果 (今後期待される効果)	効果がすぐに表れるものではないが、一つ一つの取組みやイベントのようなものでも効果は発揮されるため引続き行っていく。
今後の取組み (課題含む)	健康相談や運動体験など、身近な場所での教室実施等を行っていききたい。平均寿命が延びていくなか、健康でいられる年数は重要であり、引続き取組みを継続していききたい。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4 豊かな自然を活かし、安全安心で穏やかな生活が出来る

検証主幹課:健康福祉課

指標名 (KPI)		健康寿命と平均寿命の差(女性)				見込み	
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				R1	単位
5	5	H27	H28	H29	H30	-	年
		5.4	5.2	5.3	5.3		

R2:目標値	5.2
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	・がん検診の対象年齢の引き下げを実施 ・がん検診の精度の向上を図った ・健康マイレージ事業の実施 ・健康増進計画・食育推進計画の策定 ・禁煙チャレンジ推進事業を実施 など
実施状況の説明	・定期的な検診の受診を促し、がんなどの早期発見を目指し実施した。 ・当町の喫煙率が高いという健康課題に対する取組みを実施した。
進捗状況の分析	基準値を下回ることなく推移しており、今後も継続して取組んでいきたい。
事業の効果 (今後期待される効果)	効果がすぐに表れるものではないが、一つ一つの取組みやイベントのようなものでも効果は発揮されるため引き続き行っていく。
今後の取組み (課題含む)	乳がんや子宮頸がんの罹患率上昇により、若い世代のがんの罹患率は、全国的に女性の方が高くなっている。健康相談や運動体験など、身近な場所での教室実施等を行っていききたい。平均寿命が延びていくなか、健康でいられる年数は重要であり、引き続き取組みを継続していきたい。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(1)快適な生活基盤の整備

検証主幹課:都市整備課

指標名(KPI)		菰野インターチェンジ(仮称)周辺土地利用計画策定					
		実績値					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	H27	H28	H29	H30	R1	単位
-	1	0	0	0	0	0	0

R2:目標値	-
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	H27 IC周辺土地利用計画策定に伴う発注等支援業務委託 H28 新名神高速道路(仮称)菰野インターチェンジ周辺土地区画整理事業 事業化検討業務委託 H29 新名神高速道路(仮称)菰野インターチェンジ周辺土地区画整理事業 事業化検討業務委託(その2) H30 新名神高速道路(仮称)菰野インターチェンジ周辺地区土地区画整理 事業支援業務 R1 新名神高速道路菰野インターチェンジ周辺地区土地区画整理事業支 援業務委託
実施状況の説明	R1年度は、(仮称)菰野インター周辺地区土地区画整理組合設立準備会へ の支援業務として、説明会及び総会を3回開催し、準備会だよりを1回発行 した。
進捗状況の分析	土地区画整理組合が設立していないため、進捗状況は不明であるが、1月 末時点において、組合設立認可に必要な地権者等の2/3以上の本同意 書が集まり、5月頃に設立見込みである。
事業の効果 (今後期待される効果)	土地区画整理事業の事業期間は、令和2年度から令和10年度を予定して いる。
今後の取組み (課題含む)	事業主体は地権者が設立する組合であり、町は土地区画整理法に基づく 技術的支援や町助成要綱に基づき組合を支援する役割である。指標名の 変更はもとより、総合戦略に記載すべきかどうかの検討が必要と考える。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを
計るために継続的に計測・監視される定量的な指標
のことであり、現総合戦略策定時において各所属に
て設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(1) 快適な生活基盤の整備

検証主幹課:総務課

指標名 (KPI)		特定空家の指定件数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	50	0	0	4	0	0	件

R2:目標値	2
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	空き家実態調査データベース化(平成28年3月):菰野町空家等対策計画作成(平成29年3月):特定空家等に指定(平成29年7月)及び行政代執行による建物除却(平成30年3月):土地所有者による建物除却の促進 空き家除却事業補助金交付事業を実施(平成29年度から)
実施状況の説明	平成29年に特定空家等に4件を指定、3件が除却され残り1件は土地所有者が除却するよう建物所有者と協議している。空家実態調査結果等を元に平成29年度から所有者一斉に適正管理について通知し、建物等の修繕や除却に繋げた。空き家除却事業補助金を平成29年度に1件、平成30年度に4件、令和元年度1件交付し自主的な除却に繋げた。 また、重点地区として指定した湯の山地区でも空きホテル2棟の取壊しを完
進捗状況の分析	道路や隣地に影響があり緊急に対応すべき建物は、平成29～31年中に解消。これ以外に空き家除却補助事業により空き家の除却を促進している。特定空家等に指定は目標数に達していないが、空家の所有者に適正管理依頼文を送付し対応させるで特定空家等の候補件数を減少させている。(一斉通知件数平成29年度89件、平成30年度55件)
事業の効果 (今後期待される効果)	建物所有者から、適正管理依頼書を受けて小修繕等の対応したとの報告があり、建物の適正管理の意識づけに繋がっているおり、管理不全空家増加を抑制に繋がっている。借地に建てられている建物の除却に土地所有者が前向きとなっており、今後除却に繋がると考えられる。
今後の取組み (課題含む)	前回から対応が進まない物件は、特定空家等に指定していく。 管理不全空家から特定空家等にならないよう適正管理の啓発を推進していく。 また、空き家バンク制度の導入を検討する。 空家の所有者の内、相続手続きや都市計画区域の調整区域内に建物がある場合、経済的な理由などで取り壊しに繋がらない案件が今後も増加する事が懸念される。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課:健康福祉課

指標名 (KPI)		交流サロン参加者数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
6,330	6,500	7,056	7,589	8,954	9,819	9,340	人

R2:目標値	9,600
--------	-------

〈事業の分析〉

具体的な取組名	① いきいきサロン ② 地域の茶の間
実施状況の説明	いきいきサロンは自治会単位で月1回開催。地域の茶の間は週1回以上開催している地域の集まりを指す。いきいきサロンは、活動を休止している地区もあり、平成28年をピークに参加人数も減少傾向。地域の茶の間は1か所あたりの開催回数が多いこともあり、参加人数は増加傾向。
進捗状況の分析	①いきいきサロンについては、参加人数は当初の目標を上回っているものの、活動の状況は停滞傾向。②一方で地域の茶の間は、徒歩圏内で頻度の高い交流の場として、浸透しつつあるが、開催場所が7か所で頭打ち。
事業の効果 (今後期待される効果)	いきいきサロンが定着することで、地区単位での交流やつながりを維持することができ、介護予防の効果もあるが、要介護認定者数の推移など、客観的な評価はできていない。(介護認定率の変動は多様な要因が考えられるため)
今後の取組み (課題含む)	いきいきサロンは、自治会単位での高齢者同士の交流の場であるが、老人会をバックボーンに活動している地区においては、縮小傾向の見られる地区もある。元気な高齢者が自治会に縛られない活動を自ら選択することも一因。(老人会離れが進めば、自治会単位での支えあいや見守り活動といった副次効果を期待し難い。) 今後は、いきいきサロンに対する運営サポートのあり方、地域の茶の間を増やしていくことについて、委託先である社会福祉協議会や生活支援コーディネーター、各地区の代表(区長・民生委員等)と協議していく必要がある。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課:企画情報課

指標名(KPI)		地域コミュニティ支援員派遣回数(累計)					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値				見込み	単位
		H27	H28	H29	H30	R1	
1	8	1	1	0	-	-	回

R2:目標値	-
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	菰野町地域づくり支援事業
実施状況の説明	平成25年度より開始した支援事業であったが、平成30年度より事業廃止となった。
進捗状況の分析	平成30年度より事業廃止
事業の効果 (今後期待される効果)	平成30年度より事業廃止
今後の取組み (課題含む)	平成30年度より事業廃止 現時点では事業の再開の見込み無し。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課: 健康福祉課

指標名 (KPI)		地域住民による健康、介護予防活動開催回数(累計)					単位
		実績値					
基準値 (H26)	目標値 (R1)	H27	H28	H29	H30	R1	
110	170	100	146	166	191	188	回

R2:目標値	100
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	①介護予防運動教室 ②みんなの運動サロン ③元気サポーター養成講座
実施状況の説明	①元気アップに委託して13地区において年間10回ずつ元気アップの講師による体操を通年で行っており、開催については安定している。一方で、計画策定時にはなかった上記②③の活動が盛り上がっている。こちらについては、社会福祉協議会に運営を委託して実施しているものの、③の養成講座を受講した住民がお元気サポーターとして②みんなの運動サロンにおける講師役を担い、介護予防に資する運動を実践している。 ③みんなの運動サロンは地区コミセン単位でH28より1か所ずつ③サポーター養成講座を開催した後にサロンを立ち上げ、1か所につき月2回開催。現在4か所(朝上、鶴川原、菰野、千種)。
進捗状況の分析	①については、現在130回/年と安定している。 計画策定時にはなかった②③の事業が、地域住民による健康、介護予防活動としての意味合いが強く、これらの活動実績を目標に掲げたい。(②③の合計は、H28:16 H29:36 H30:61 R1:83)
事業の効果 (今後期待される効果)	サポーターになる方は、参加住民自らの社会貢献欲や健康に対する意識は元々高いが、それを他の人にも広げていくことができおり、みんなの運動サロンの参加人数も増えている。みんなの運動サロンは社会交流の場ともなっていることから、見守りや助け合いの意識も向上し、自助共助の意識の醸成が期待できる。
今後の取組み (課題含む)	今後は5地区に展開し、さらに自治会単位での開催やいきいきサロンへの派遣あるいは協働事業化も視野に入れ、関係機関(社協、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター)とも連携していきたい。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課:社会教育課

指標名(KPI)		ウォーキングイベント等参加者数(累計)					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	500	186	265	261	181	248	人

R2:目標値	500
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	名所めぐりウォーキング(町内外コース) ポールを使ったウォーキング ノルディックウォーキング
実施状況の説明	水曜日は、ウォーキングデイとして 第1水曜日 健康ウォーク 年8回開催 第2水曜日 ノルディックウォーキング 年11回開催 第3水曜日 名所巡りウォーキング 年10回開催 第4水曜日 ポールウォーキング 年9回開催
進捗状況の分析	各年度事業開始前に、チラシやホームページにより確認。 広報お知らせ版にて、開催日時等の確認。 年2回の運営委員会やスポーツ審議会等で事業報告を受け進捗管理をしている。
事業の効果 (今後期待される効果)	体幹の筋力UP・全身運動・スタミナアップ・減量に効果的 正しい姿勢の保持と体の左右のバランスの保持になる
今後の取組み (課題含む)	事業開始当初3年間は委託事業であった。平成30年度から元気アップスポーツクラブが自主事業として取り組みをしている。令和元年度から工夫して水曜日は、ウォーキングデイとして継続的に取り組みをしていく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課：消防

指標名 (KPI)		AEDの設置サポート事業所認定数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	100	51	56	60	66	67	件

R2:目標値	75
--------	----

＜事業の分析＞

具体的な取組名	・AED設置促進に関する広報及び啓発活動。 ・救命サポート事業所標章交付制度。
実施状況の説明	・菰野町ホームページやお知らせ版での広報。 ・町内AEDマップ作成及び各戸配付の実施。 ・各種の救急講習会や救命講習会での広報。 ・新たにAEDを設置した事業所及び団体に対する「菰野町救命サポート事業」への登録要請。 ・バイスタンダーCPR実施率及び社会復帰率の調査。
進捗状況の分析	菰野町救命サポート事業所の登録事業所を増加させる事は、目標である救命率の向上への重要な要素であり、今後も継続した広報及び登録要請が必要である。しかし、救急車到着までに時間を要する地域や、新規事業所の増加が見込まれない山間部に対しての対応が今後の課題である。
事業の効果 (今後期待される効果)	菰野町救命サポート事業所の登録事業所が増加することで早期除細動が可能となり、その結果、傷病者に対する救命率の向上及び社会復帰に繋がる。
今後の取組み (課題含む)	今後も引き続き、AED設置促進に関する広報及び啓発活動と、AEDを設置した事業所及び団体に対する「菰野町救命サポート事業所」への登録要請。 特に課題となる救急車到着までに時間を要する地域に対して、救命サポート事業所標章交付制度の啓発を促進する。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課：消防

指標名 (KPI)		消防支援隊隊員数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	100	35	50	51	61	68	人

R2:目標値	83
--------	----

＜事業の分析＞

具体的な取組名	菰野町消防支援隊員募集
実施状況の説明	毎年、消防団退団者を中心に増員を行っている。
進捗状況の分析	平成27年に消防支援隊を発足し、毎年消防団退団者から10名程度入隊している。平成30年度現在、61名の隊員数となっている。
事業の効果 (今後期待される効果)	現在のところ、活動実績はありませんが、大規模災害発生時には、消防団を退団した方の知識と経験を活かし、後方支援活動や情報収集、災害活動の支援といった消防本部消防署、消防団の活動支援が期待できる。
今後の取組み (課題含む)	引き続き消防団退団者に対して募集を行っていく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課:消防

指標名 (KPI)		自主防災組織アドバイザー養成数					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
-	17	1	3	5	5	5	人

R2:目標値	5
--------	---

<事業の分析>

具体的な取組名	三重県主催の自主防災組織アドバイザー養成講座及び消防団・自主防災組織連携実務研修受講
実施状況の説明	三重県主催の養成講座として、平成27年度から平成29年度の間に3回開催されたが平成30年以降は開催されていない。
進捗状況の分析	平成27年度1名、平成28年度2名、平成29年度2名、計5名養成、県の自主防災組織アドバイザー養成事業は平成29年度で終了しており平成30年度以降は養成していない。
事業の効果 (今後期待される効果)	消防団員を防災アドバイザーとして養成したことにより、地元の自主防災組織と一緒に、連携実務研修で実践したことを地域で実行に移し、災害時に相互が補完し合いながら隙間ない体制を構築できる。
今後の取組み (課題含む)	アドバイザーを中心に各地区訓練等において自主防災の知識、技術を広め、消防団と自主防災組織の連携活動に繋げていく。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。

菰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証

4-(2) 安心な地域コミュニティづくりの推進

検証主幹課: 消防

指標名 (KPI)		防災訓練及び救命講習の開催件数(累計)					単位
基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値					
		H27	H28	H29	H30	R1	
55	250	142	243	357	436	532	件

R2:目標値	600
--------	-----

<事業の分析>

具体的な取組名	各地区消防訓練指導、各地区自警団消防訓練指導、普通救命講習会Ⅰ、普通救命講習会Ⅲ、上級救命講習会、普及員養成講習会、普及員勉強会、救急講習会
実施状況の説明	年間を通して各種訓練指導を実施しており、各年で指導回数の増減はありますが、消防訓練指導は年間約30～50件、各種救急及び救命講習会は年間約40～50件の実施状況である。 バイスタンダーCPR実施率及び社会復帰率の調査。
進捗状況の分析	火災現場では、消火器・消火栓の普及が進んでいることから、住民による初期消火がされている現場も見受けられる。救急現場では、バイスタンダーCPRも半数以上が実施されている。これに関しては講習会での指導と指令センターでの119番覚知時の口頭指導も功を奏している。 進んでいる方向性としては、成功事例もあることからこのまま継続指導していくが、指導機会が少ないことが課題である。消防団、応急手当普及員の協力も得ながら指導回数を増やしていきたい。
事業の効果 (今後期待される効果)	火災事案については、被害の軽減効果がある。 救急事案では、傷病者の苦痛軽減、心肺蘇生、社会復帰という効果が期待できる。
今後の取組み (課題含む)	初期消火やバイスタンダー実施率の向上は、継続した住民への指導が必要であると考え。しかし、消防署単独では困難な状況であり、現在実施している消防団と協力した消火訓練指導、応急手当普及員による自主組織内での応急手当普及等を推進し、各地域及び組織内での訓練や講習会実施を増加させ、実災害発生時に住民の生命、身体、財産を守ることに繋げる。 また、救急車到着までに時間を要する山間部や北部地域に対し、各種救命講習会や応急手当普及員講習会等の実施を啓発する。

KPI(重要業績評価指標)とは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことであり、現総合戦略策定時において各所属にて設定していただいた目標値を指します。